

南富良野PR どうする？

【南富良野】「町異校種交流会」が南富良野高で初めて開かれ、町内の小中高校3校の児童会や生徒会の役員計15人が町づくりについて議論した。

3校は南富良野西小、南富良野中、南富良野高。教育活動の連携を強化する目的で南富良野高が4日に主催した。南富良野小はインフルエンザの感染拡大の影響で、参加を見合わせた。

児童生徒たちは4班に分かれ、町の魅力を付箋に書き出した後、それらを町外へPRする方法を討論。「TikTok（ティックトック）で『絶滅危惧種のイトウ釣ってみた』などの目を引く動画を投稿する」「町の魅力発信用のYouTubeアカウントを開設する」などの意見が出た。

小中高3校 児童生徒が議論

閉会式では、南富良野中2年の由利仁菜さん(13)が代表で「一人一人考えが違って新鮮だった。ここで出た意見を基にこのまちがもっと良くなってほしいと感じた」とあいさつした。

(相武大輝)



町づくりについて話し合った児童生徒ら